

**場所:ユーコープ事業連合 商品検査センター、森の里要冷セットセンター(神奈川・厚木)**

快晴で10月にしては汗ばむこの日、当部会ではサステナビリティ創造研究学会の法人会員でもあるユーコープ様にご協力に頂き、施設見学会を実施しました。当日は遠距離にも関わらず10企業・団体、15名がご参加。皆、終始、真剣に説明に耳を傾けておられました。

センター内の役割や検査内容の概要説明を受け、それぞれの検査内容を窓越しに見学しました。検査内容としては「品質検査」から「材質検査」「微生物検査」「残留農薬検査」「遺伝子検査」、そして昨今、関心の高い「放射能検査」に至るまでどれも厳重な体制の中、実施されております。

また、食べ物を取り扱う上での基本である「手洗い」については従業員への教育が徹底されており、参加した私達も実際に手洗いについて研修を受けました。

この手洗い研修は、ハンドクリームに蛍光剤を混ぜたものを、手に軽くすり込みます。

そして、いつも手洗いを行っているように手洗いをしてから、ブラックライトに照らしてみると・・・

参加者から歓声が出るのもわかります。いつも通りのホンの数秒の手洗いでは、汚れを落とすことができません。特に、指先や爪の間、手の甲に到っては全く汚れが落ちていないことを思い知らされました。ユーコープで働く従業員の皆様は汚れを残すことなく手を洗うことは、当たり前の基本行動となっているとの事でした。



続いて要冷セットセンターへ。この日は作業現場はお休みでしたが、日常の作業内容について説明頂きました。専用の防寒コートを着用し見学がスタート。

センター内は温度管理が徹底されており、全体が冷蔵・冷凍庫になっており、食品の鮮度を維持しつつ、保管がなされています。自宅に届く宅配の品々がこのようなシステムで管理されている様に参加者一同、関心ひとしきりでした。



見学の後は再び、会議室に戻り、質疑応答が行われました。参加者からの積極的な質問にユーコープ様からは分かりやすく説明を頂きました。徹底した管理とともに、このように開かれた見学会の実施を通して、お客様とサステイナブルなコミュニケーションを取っていることを参加者は学びました。

終了後、異業種交流の意義も留めた見学会でもあるため、参加者とユーコープ様、また参加者同士の名刺交換に華が咲き、見学会は終了しました。

ご多用の中を見学会にご協力下さいましたユーコープの皆様、また遠路、参加いただいた皆様には心より感謝申し上げますとともに、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。